

「卵巣癌における PARP 阻害薬の有効性および安全性の予測因子に関する検討」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2018年1月1日から2022年3月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科を受診し、卵巣癌と診断され、PARP 阻害薬（オラパリブ、ニラパリブ）による治療を実施した患者様を対象としております。

2. 研究の目的

PARP 阻害薬の有効性や安全性を予測できる因子の探索を目的としております。

3. 研究期間

病院長の許可後～2023年12月31日の期間となります。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

診療記録および手術で摘出された卵巣癌組織を用いさせていただきます。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である吉田 裕之が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

卵巣癌と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 吉田 裕之（研究代表者）
- ・埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 乾 宏彰

4. 試料・情報の管理責任者

<提供元機関> 埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 吉田 裕之

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：卵巣癌における PARP 阻害薬の有効性および安全性の予測因子に関する検討

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 吉田 裕之